

# **令和 7 年度産業建設委員会 行政視察報告**

**令和 8 年 1 月 8 日**

## 視察の目的

①地方と都市の結節点としてのインフラ活用について

視察先：長野県松本市 「信州まつもと空港」

②次世代が誇りを持てる地域コミュニティについて

視察先：福岡県福岡市 「小倉祇園太鼓」

③多様な働き方と挑戦を支える環境整備について

視察先：福岡県北九州市 「ウーマンワークカフェ北九州・COMPASS小倉」

④住まいと生業（なりわい）の基盤づくりについて

視察先：福岡県福岡市 「イエカツ」

## (1) 長野県松本市「信州まつもと空港」

### 【概要】

松本空港は昭和40年に開港し、標高約657メートルに位置し「日本一空に近い空港」とされる。

滑走路は2000メートルあり小型・中型機の運行が可能で、就航路線は定期便が札幌線、福岡線、神戸線の3路線と、国内線・国際線のチャーター便を運航。



## (1) 長野県松本市「信州まつもと空港」

### 【課題】

- ・ 施設の老朽化
  - ・ 標高の影響により最大離陸重量に制限
- 滑走路延長希望も現状は困難
- ・ 発着枠の制約
- 現状 12便※令和7年12月より20便まで拡大
- ・ 収益性が乏しく厳しい経営環境





## (1) 長野県松本市「信州まつもと空港」

### 【各委員からの岡谷市への提言や反映策】

#### ・「使う側」から「活かす側」への転換

本市から車で30分という立地を活かし、単なる移動手段ではなく、岡谷の精密部品や高付加価値産品（シルク等）を運ぶ「物流の選択肢」としての活用を、民間企業と連携し研究する。

#### ・広域観光ハブとしての連携強化

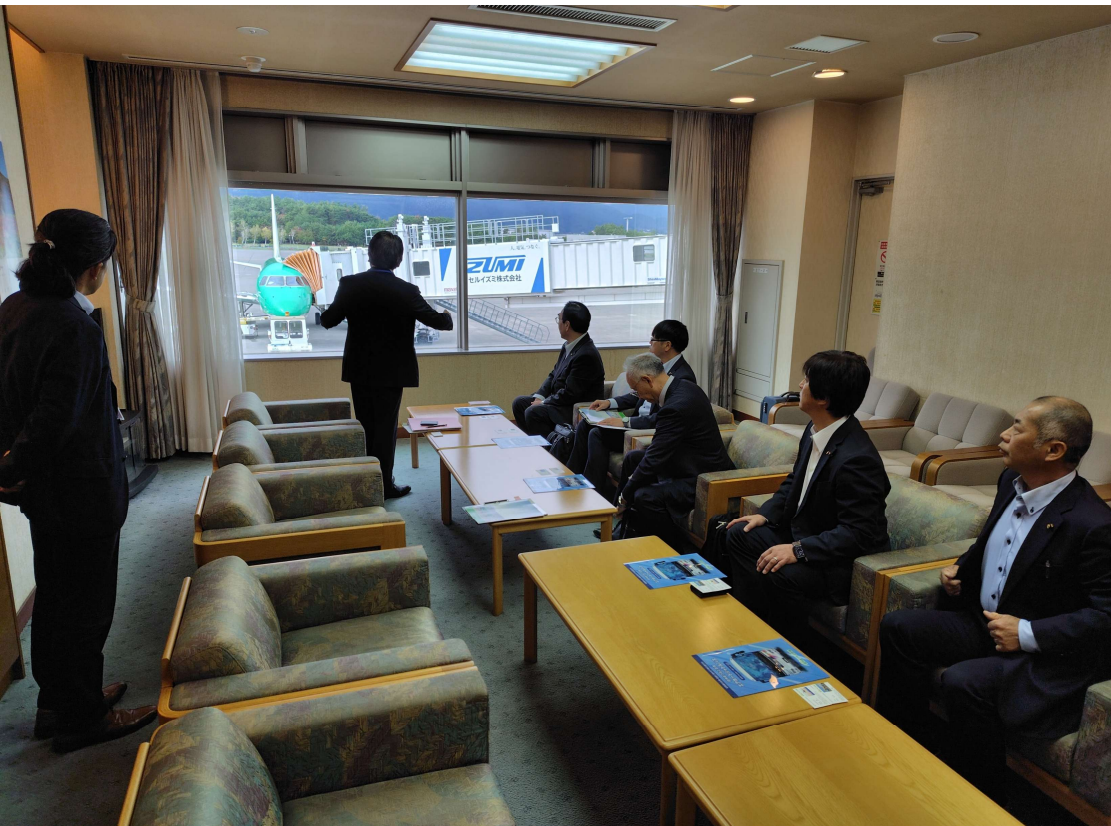
福岡・北九州エリアは「時間距離」で非常に近い交流圏である。インバウンドを含む観光客を空港から本市へ誘導するため、二次交通（シャトルバス等）や周遊ルートの整備を近隣自治体と連携して推進する。











## （２）福岡県北九州市「小倉祇園太鼓」

### 【概要】

小倉祇園太鼓は毎年７月に開催される伝統行事で、約400年の歴史を有し**国の重要無形民俗文化財**に指定されている。

運営は地域（町内会）が主体となり、市の補助金は最小限（約20万円等）に留め、寄付や協賛金で自走している。

また、女性や子ども、初心者も参加しやすい「太鼓塾」や「おもてなし太鼓」を展開している。

## (2) 福岡県北九州市「小倉祇園太鼓」

### 【特記事項】

- ・ 小倉祇園太鼓は「暴れ打ち」と呼ばれる迫力ある演奏スタイル
- ・ 「ドロ・カン」3拍子の正調リズム。
- ・ 次世代への継承には「チャンガラ」という要素が重要とされ、伝統と革新の両立を図る。
- ・ 観客動員数は例年25万人。
- ・ 地域主導の運営により、市民の誰もが気軽に参加できる敷居の低いお祭り。





## (2) 福岡県北九州市「小倉祇園太鼓」

### 【各委員からの岡谷市への提言や反映策】

- ・「見せる祭り」から「参加する祭り」への深化

初心者・女性・移住者が気軽に参加できる通年型の「太鼓塾」や、観光客向けの体験プログラムを拡充。

- ・住民主体、財政的自立の追求

行政主導・公費依存型から、保存会や地域コミュニティが主体となり、クラウドファンディングや企業協賛で自走する「持続可能な運営」への転換。

- ・回遊性の創出

定点演奏だけでなく、街中を練り歩くスタイル(または簡易的な回遊イベント)を試験的に導入し、街全体の賑わい創出。











### (3) 福岡県北九州市

#### 「ウーマンワークカフェ北九州・COMPASS小倉」

##### 【概要】

##### ○ウーマンワークカフェ北九州

全国初、国（ハローワーク）・県・市が同居する女性就業支援拠点。就職相談、保育所相談、キャリアアップ、創業相談を**ワンストップ**で提供。「もやもやした悩み」の段階から伴走支援を行う。

##### ○COMPASS小倉

「日本一起業家に優しいまち」を掲げる創業支援拠点。スタートアップの育成、学生への起業教育、専門家（弁護士・税理士等）による**ワンストップ**相談機能を有する施設。

## (3) 福岡県北九州市

### 「ウーマンワークカフェ北九州・COMPASS小倉」

#### 【特徴】

#### ○ウーマンワークカフェ北九州

- ・ 国、県、市が共同で運営する三者連携型の就業支援拠点
- ・ 就職相談、企業紹介、託児相談などを一カ所で完結する ワンス  
トップ窓口
- ・ 再就職希望者、子育て期の女性、ブランクからの復帰者を重点支援
- ・ 相談は柔らかい雰囲気、初めてでも受けやすい設計
- ・ キャリアセミナー、面接練習など実践支援プログラムも実施

### (3) 福岡県北九州市

#### 「ウーマンワークカフェ北九州・COMPASS小倉」

##### 【特徴】

##### ○COMPASS小倉

- ・ 創業希望者向けの相談・手続き・事業成長支援を一体的に提供
- ・ 起業に関する課題を総合的に解決できるスタートアップ支援施設
- ・ 女性の起業支援・新しい働き方の実現サポートに重点
- ・ 伴走支援スタッフによる継続的なフォロー体制
- ・ 成長支援プログラムの実施（アクセラレーションプログラム、マッチング支援、グローバル展開支援、学生向け育成プログラム）

### (3) 福岡県北九州市

#### 「ウーマンワークカフェ北九州・COMPASS小倉」

##### 【各委員からの岡谷市への提言や反映策】

- ・ 真のワンストップ相談窓口の設置

就労支援と子育て支援(保育園入所等)が別窓口である現状を見直し、関係機関が連携して一か所で課題解決できる体制(または連携フロー)を構築。

- ・ 潜在的労働力の掘り起こし

「働きたいが一步踏み出せない」女性層に対し、実務スキル(IT、SNS運用等)の習得機会を提供し、自信を持って就労できるよう「就職の前段階」を手厚く支援

### (3) 福岡県北九州市

#### 「ウーマンワークカフェ北九州・COMPASS小倉」

#### 【各委員からの岡谷市への提言や反映策】

- ・ **創業支援の拠点化と教育**

テクノプラザおかや等の既存施設を活用し、創業希望者・学生・地域企業が交流できる「挑戦の場」を再構築する。

また、学生へのアントレプレナーシップ教育(起業家教育)を推進。



若者ワークプラザ北九州

WOMAN WORK CAFE  
KITAKYUSHU  
ウーマンワークカフェ北九州



WOMAN  
WORK CAFE  
KITAKYUSHU

ウーマンワークカフェ北九州











COMPASS小倉







## (4) 福岡県福岡市「イエカツ」

### 【概要】

空き家問題の深刻化を受け、県が空き家の発生抑制や活用・処分の支援を**ワンストップ**で行う目的で令和2年10月に開設された。

特徴は課題である「相続未登記」や「権利関係の整理」に対し、司法書士等の専門家と連携して解決を図った上で、不動産業者へつなぐ仕組み。



令和5年度の相談件数は**532件**と増加傾向

R2(10月～)		計	R3		計	R4		計
相談件数	360	件	相談件数	437	件	相談件数	433	件
相談会開催回数	10	回	相談会開催回数	21	回	相談会開催回数	20	回
相談会相談件数	102	件	相談会相談件数	153	件	相談会相談件数	153	件
相談会抜き相談件数	258	件	相談会抜き相談件数	284	件	相談会抜き相談件数	280	件

R5		計	R6		計	R7(～9月)		計
相談件数	401	件	相談件数	532	件	相談件数	271	件
相談会開催回数	19	回	相談会開催回数	20	回	相談会開催回数	11	回
相談会相談件数	106	件	相談会相談件数	133	件	相談会相談件数	82	件
相談会抜き相談件数	295	件	相談会抜き相談件数	399	件	相談会抜き相談件数	189	件



## (4) 福岡県福岡市「イエカツ」

### 【取り組み事例】

#### ・売却支援(手離れ希望)

相続整理→司法書士連携→売却

#### ・相続課題の整理

ケアマネ経由の相談→売却

#### ・立地特性を活かした賃貸活用で地域貢献


空き家→学生向けシェアハウス

#### ・空き店舗活用

空き店舗→リフォーム→テナント向け賃貸

**1 相談事例 手離れ希望 → 名義変更、売却、解体**

空き家を2棟所有。1棟は借地。まだ何も手をつけてなく、何からすればいいかわからない。処分希望。



門司・八幡

対応	結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・土地所有者と話し合い更地で返還することが決定</li><li>・売りやすい1棟目から取り組んでいく</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・土地建物の名義変更(司法書士紹介)</li><li>・1棟目の下見会(業者選定、売却)約半年</li><li>・北九州市解体補助金の申請手伝い</li><li>・解体して土地を地主に返還</li></ul>

## (4) 福岡県福岡市「イエカツ」

### 【各委員からの岡谷市への提言や反映策】

- ・「相続・権利整理」への支援強化

空き家の発生予防および流通促進のため、司法書士・土地家屋調査士等と連携協定を結び、権利関係の整理をセットにした相談体制を構築。

- ・情報発信とプッシュ型アプローチ

固定資産税の納税通知書へのチラシ同封など、潜在的な空き家所有者へプッシュ型で情報を提供。

- ・「イエカツ」モデルの導入検討

市単独または広域連携により、公的な信頼性を担保した「空き家活用・相談の総合窓口」の設置を検討。









以上で行政視察報告を終了します。